

中高一貫教育だより

第 1 号

平成26年
10月2日発行
文責 益永



土佐清水市

連携型中高一貫教育スタート

2学期が始まり、早くも1ヶ月が経とうとしています。この間、清水中学校・清水高校では体育祭が行われ、グラウンドでは元気な生徒の姿を見ることができました。

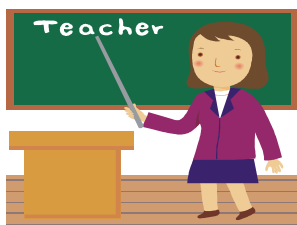
さて、清水中学校と清水高校は、今年度より連携型中高一貫教育を実施いたします。7月末には、中高一貫教育を推進するための組織づくりや実施計画、予算等の審議を行い、実質的なスタートをきることができました。

目的・活動計画は下記のとおりです。学力向上とキャリア教育「防災教育」学校交流と地域貢献」を

取組みの柱に置き、これら実践を通して、中高の6年間で、確かな学力と豊かな心の育成に努め、地域を愛し、地域に貢献できる人づくりを進めていきます。

交流授業の実施

組織づくりに先駆け、4月から中高交流授業が行われています。中学校3年生の数学と英語の授業に、また中学校1年生の国語の授業に高校の教員がそれぞれ関わり、さらに、高校の美術の授業では中学校教員が関わっています。



高校からのお知らせ

清水高校では、10月7日(火)

午後、**中学生1日体験入学**を実施します。学校紹介や体験授業、部活動の体験などを企画していま

す。進路選択に役立ててほしいと思います。

中学校からのお知らせ

清水中学校では、11月3日(月)に校内文化祭を行います。

午前は、弁論、英語暗唱、音楽部発表、午後には、合唱の部を行います。会場内には、各学年で取り組んできた展示もあります。是非おいで下さい。



連携型中高一貫教育の目的

6年間のゆとりの中で、計画的・継続的な教育を行うことにより、生徒一人ひとりの個性や創造性を伸ばし豊かな人間性を育み、特色ある教育課程の編成や教員及び生徒の交流などの教育活動を推進することにより、地域・社会に貢献できる人づくりを目指す。

中高一貫教育活動計画（取組みの柱）

- 1 学力の向上と定着を図り、キャリア教育の推進を目指す事業
 - ① 中高交流授業の実施
 - ② 連携教材の作成
 - ③ キャリア教育の推進
- 2 南海地震や津波等の理解を深め、防災教育の推進を目指す事業
 - ① 中高合同防災学習の実施
 - ② 防災に関する提言づくり、啓発活動
- 3 部活動や学校交流の活性化を図り、地域に貢献することを目指す事業
 - ① 学校行事への参加
 - ② 生徒会・部活動の交流
 - ③ 地域交流の推進



清水高等学校長の益永です。中高連携事業がスタートしました。情報発信のひとつとして、この「たより」を作成しました。生徒、保護者、学校が情報を共有していきたいと思います。新たな教育活動であり、試行錯誤が続くかもしれませんが、生徒の健全育成と進路実現そして地域に貢献できる人づくりを目指し、充実した取組みにしていきたいと思っています。